

講義名	スポーツ科学演習 A (ゴルフ)		
担当教員	坂井 隆秀		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限	授業形態	演習
履修開始年次	1年生	単位数	2
備考			

主題と概要

ゴルフは、手軽に行うことの出来るスポーツとして以前とは異なり環境が整備されてきた。そのため性別年代を問わず広く楽しめる生涯スポーツのひとつとして捉えられている。しかし皆が気持ちよくゴルフを楽しむためには、技術の習得のみならず、ルール・マナーを守ることにより、お互いが気持ちよくプレーする事や、事故などのトラブルを回避することも学ばなければならない。本授業では、ゴルフの技術、ルール、マナーなど全般的な事を理解する。そして実践のために必要なプレーヤーとして正しい知識の習得を目的とする。

到達目標

1. 「健康」獲得の方法を修得できるようになる。
2. 基本ルール、基礎技術を理解し、説明できるようになる。
3. 基礎技術を修得し、生活にわたるスポーツ実践の礎とすることができるようになる。

*オンデマンドでの受講では、以上の到達目標を達成することが難しい。このため、対面授業とする。
ただし、新型コロナウイルス感染症の感染者、または、濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生については、その期間のみ課題学習などによって対応する。

提出課題

基本的なクラブのスイング方法について理解し、習得しているかレポートの提出を課します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

提出された課題・レポートに対してコメントをつけて返却します。

評価の基準

*授業実施時間数の4回以上欠席したものは単位を認定しない。
*授業中の評価：受講態度・実技点など・・・80%
*中間期の評価：レポート課題・・・10%
*期末期の評価：レポート提出・・・10%
*新型コロナウイルス感染予防対策として、全ての授業がオンラインに変更された場合については、その時に詳細を伝える。

履修にあたっての注意・助言他

ゴルフ初心者の方を対象に授業を進めていきます。
参加者により授業内容を変更する場合があります。
授業前・後は必ずマスクを着用することとし、授業中については教員の指示に従うこと。

教科書	.使用しない。				

プリント資料及び参考文献

授業計画

第1回 ガイダンス 本授業の目的、進め方、評価等について
 第2回 スイングの基本 クラブを正しく握る
 第3回 スイングの基本 正しく立つ方法
 第4回 アイアンの基本 ミドルアイアンの実践
 第5回 アイアンの基本 ショートアイアンの実践
 第6回 アイアンの基本 ロングアイアンの実践
 第7回 講義 映像を用い、様々な練習方法を学習する
 第8回 ウッドの基本 ①の実践
 第9回 ウッドの基本 フェアウェーウッドの実践
 第10回 ウエッジの基本 ピッチングウエッジの実践
 第11回 ウエッジの基本 アプローチウエッジの実践
 第12回 ウエッジの基本 サンドウエッジの実践
 第13回 パッティングの基本 パターのグリップとアドレス
 第14回 パッティングの基本 パッティングの実践
 第15回 まとめ
 *新型コロナウイルスの状況により、接触の恐れのある練習内容については実施できないこともある。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	オ：実験、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

本学では、学期上、2単位を修得するためには、15回の授業と、1回の授業に対して、4時間の予習・復習等の教室外学習が必要であるとされている。
 紳士、淑女のスポーツとされる「ゴルフ」に触れるにあたり、ルールやマナーについて事前に理解を深めておく必要がある。また、技術は一度の練習で身につくものではないので、毎授業後、繰り返し反復練習をすることが望まれる。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目を受講し、目標を達成することで、本学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力の5項目および、健康スポーツ科学のキャリアムガリシーへ貢献することができる。集団や個人でスポーツ実践に取り組む中で、明るく元気な、どのような場所でも物怖じすることなく、誰とでもしっかり言葉を交わすことができ、逆境でもたくましく生き抜く力、つまり「ネアカ」のびのびとした「心」の精神を育むことができる。また、問題点やその要因を発見し、自らが確り取り組めるようになる。そして、他者に働きかけ、協力して課題へ取り組むことにより、円滑なコミュニケーションをとることができるようになる。
 生涯にわたってスポーツに関わったり、健康の維持・増進に努めたりすることができるような知識を得て、理解することができる。
 以上は、全学部・学科の所属学生へ共通している。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

「本科目については対面授業のため、実技を中心とした授業展開となる。」ただし、「新型コロナウイルス感染予防対策として、全ての授業がオンラインに変更された場合については、オンラインによって授業を実施することになるので留意すること。」

実務経験の有無及び活用

備考